

会社概要

平成28年6月30日現在

社名 株式会社ユニバーサル園芸社

設立年月日 昭和49年2月1日

資本金 172,770,000円

従業員数 連結603名(うち海外177名)

(注) パート従業員を含んでおります。

グループ会社
ビバ工芸株式会社
株式会社青山造園
株式会社花守花の座
株式会社高島屋植物園
上海寰球園芸産品租賃有限公司(中国)
ローリング・グリーンズ・インク(米国)

株式の状況

平成28年6月30日現在

発行可能株式総数 8,000,000株

発行済株式の総数 2,512,500株

株主数 1,141名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
森坂 拓実	350,360	14.6
森坂 幸子	297,000	12.4
カーン 園子	264,000	11.0
ユニバーサル園芸社員持株会	255,300	10.6
森坂 優子	170,540	7.1
ユニバーサル商事有限公司	113,300	4.7
大和リース株式会社	100,000	4.2
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	83,000	3.5
株式会社東邦レオホールディングス	70,000	2.9
日泰サービス株式会社	63,000	2.6

(注) 持株比率は、自己株式(110,145株)を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度 毎年7月1日から翌年6月30日まで

定時株主総会 毎年9月開催

基準日 定時株主総会 毎年6月30日
期末配当金 毎年6月30日
中間配当金 毎年12月31日
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

単元株式数 100株

株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉2丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 0120-782-031

公告方法 当社ホームページに掲載
http://www.uni-green.co.jp/

役員

平成28年9月24日現在

代表取締役社長 森坂 拓実

常務取締役 西川 道広 (関東事業本部長)

取締役 片岡 義雄 (関西事業本部長)

取締役 安部 豪 (管理本部長)

常勤監査役 稲治 由之

監査役 井関 新吾 (社外監査役)

監査役 桑 章夫 (社外監査役)

配当金のお知らせ

第43期期末配当金 1株当たり 35円

配当性向 17.0%

配当金の総額 84,082,425円

(注) 1.配当性向は期中平均株式数を用いて計算しております。
2.当社は、平成27年7月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

株価の推移

(単位:円)



(注) 平成27年7月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

お知らせ

〔住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について〕
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

〔配当金計算書について〕
配当金支払い時にお送りしている「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねています。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。確定申告をなさる株主様は、大切に保管ください。
ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。
なお、配当金領収証にてお受け取りの株主様につきましても、配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。



第43期 株主通信

平成27年7月1日から平成28年6月30日まで

http://www.uni-green.co.jp/



ご挨拶

株主の皆様には日ごろから温かいご支援を賜り厚く御礼申し上げます。ここに、当社第43期の株主通信をお届けするにあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。当連結会計年度(平成27年7月1日から平成28年6月30日まで)における我が国経済は、個人消費の伸び悩み等もある中、経済政策等の効果による雇用や所得環境の改善等により、足元の景気は緩やかな回復基調となりました。しかし世界経済においては、新興国経済の景気減速の影響や英国のEU離脱等の問題から、円高が急速に進行したこと等により景気の先行きの不透明感が高まってきております。

このような環境のもと、当社グループは主力事業であるグリーン事業において、レンタルグリーンにおける新規顧客の獲得や販売促進のためのマーケティング活動に引き続き注力したほか、グリーン事業の更なる拡大を図るために、生花店及び園芸雑貨店の経営を中心とした小売事業の拡大に努めてまいりました。当社は小売事業を戦略事業として位置付け、積極的に事業を展開するとともに、初期投資の回収に向け経費削減などの収益力強化に係る取り組みを進めてまいりました。

この結果、当連結会計年度における売上高は5,846,871千円(前期比45.7%増)、営業利益は772,482千円(同38.7%増)、経常利益は741,144千円(同23.9%増)となり、親会社株主に帰属する当期純利益は494,612千円(同9.4%増)となりました。株主・投資家の皆様におかれましては、引き続き格別のご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

平成28年9月



代表取締役社長
森坂 拓実

今後の取り組み

- POINT 1 収益基盤の強化**
グリーン事業は多数の幅広いお客様によって支えられております。引き続き顧客満足度を向上させるべく、サービスレベルの向上と専門化を図り、他社との差別化を更に推し進め、シェア拡大に努めてまいります。また、レンタルグリーン事業以外の更なる安定的な収益基盤を確立すべく、the Farmブランドを含め、小売事業等の様々な事業への中期的な投資を図ってまいります。
- POINT 2 人材の確保と育成**
当社グループは機械化できない労働集約型産業であるため、引き続き計画的に園芸事業や環境貢献に対する意識の高い人材の採用を行い、社内で独自の研修及び人材育成制度を運用することで、社員の定着及び意欲、能力の向上を図っております。今後も成長を図るべく、人材の確保と育成に努めてまいります。
- POINT 3 組織体制・事業基盤の整備**
想定される経済的リスク、また人的、海外リスクの回避、低減に必要なコーポレート・ガバナンス及び内部統制を適切に整備・運用することで組織体制の強化を図ってまいります。また、継続して部門別の損益を把握し、販管費の削減等に取り組むとともに、社外の協力機関とも連携を取りながら事業基盤の整備を進めてまいります。

第43期のポイント

- POINT 1** **グリーン事業は企業の景況感回復を背景に増収増益**
契約数の増加や前連結会計年度に連結子会社となったローリング・グリーンズ・インクの影響等により増収となり、また経費削減に積極的に取り組んだ結果、増益となりました。
- POINT 2** **小売店舗開設**
2015年10月、当社の展開する園芸雑貨店「花と緑と雑貨のお店 りこしえ+」をイオンモール四條畷店に、東京都中央区銀座の銀座三越に、「the Farm UNIVERSAL 銀座」をオープンしました。
※トピックスに概要記載
- POINT 3** **店舗改装**
2016年3月、千葉市稲毛区のフレスポ稲毛内にある「りこしえ+ガーデン」は、「the Farm UNIVERSAL」としてリニューアルオープンしました。
※トピックスに概要記載
- POINT 4** **M&A**
2016年2月、ローリング・グリーンズ・インクはセッジフィールド・インテリア・ランドスケープ・インクより、植物のオフィス向け販売・メンテナンス事業を主とする2支店を事業譲受しました。
※トピックスに概要記載
- POINT 5** **株主優待制度の導入**
毎年期末(6月30日)現在の当社株主名簿に記載または、記録された1単元(100株)以上の当社株式を保有されている株主様を対象に当社オリジナルクオカード2,000円分を配布いたします。
※2016年6月30日現在の当社株主名簿に記載または記録された、1単元以上の当社株式を保有されている株主様が対象となります。



事業の内容及びセグメントの業績

第43期 売上高 5,846 百万円

- 66.5% レンタルグリーン事業
- 19.2% ランドスケープ事業(造園、植栽管理)
- 14.3% 園芸関連商品取扱事業

グリーン事業

売上高 3,890百万円(前期比32.5%増)
営業利益 779百万円(前期比24.1%増)

- レンタルグリーン事業**
オフィス、商業施設、飲食店、ホテルなどへ観賞用の観葉植物やアートフラワーなどをレンタルで提供しております。
- ランドスケープ事業(造園、植栽管理)**
庭園などの造園工事、植栽管理、屋上緑化、壁面緑化などを行っております。
- 園芸関連商品取扱事業**
ギフト商品、生花、観葉植物などを販売しております。

小売事業

売上高 1,120百万円(前期比65.3%増)
営業損失 85百万円(前期113百万円の損失)

個人顧客向けのガーデンセンター、グリーンショップ、フラワーショップを出店しております。

(解説) 前期リニューアルオープンしたthe Farm、新規グリーンショップをオープンさせたこと等により増収となりましたが、千葉市のガーデンセンターをリニューアルオープンしたことにより新設の設備投資に係る費用や償却負担が増加したこと等に伴い、セグメント損益は損失となっております。

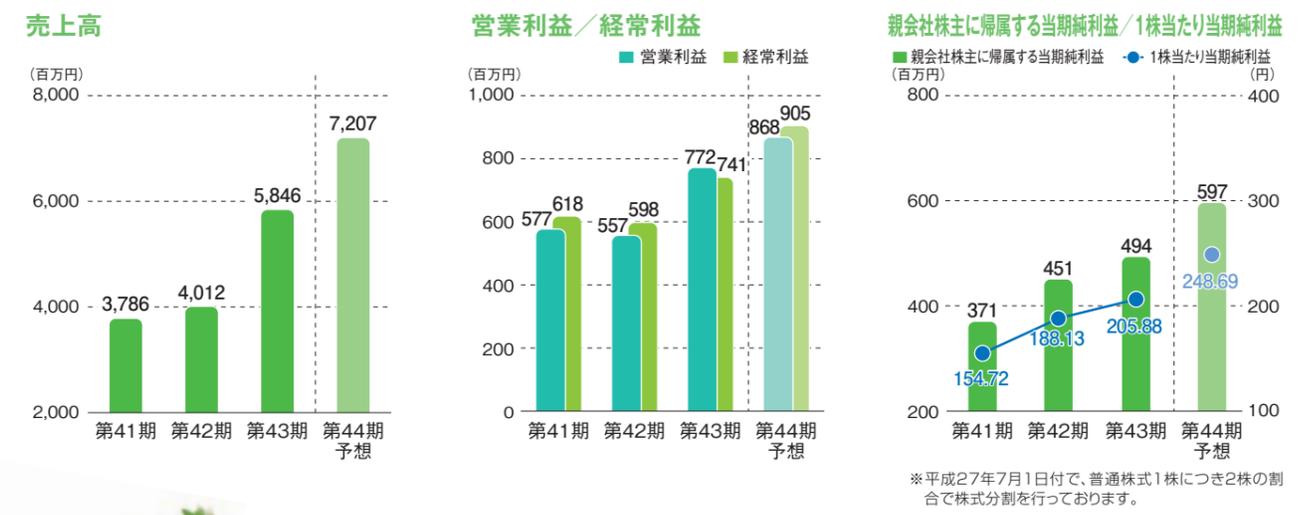
卸売事業

売上高 836百万円(前期比109.7%増)
営業利益 56百万円(前期比107.4%増)

観葉植物、鉢花、造花、エクステリア資材を卸売しています。

(解説) 販売先の拡大等の営業強化に取り組んだことや、前連結会計年度に連結子会社となった高島屋植物園の影響等により増収増益となりました。

※各セグメントの業績数値につきましては、セグメント間の内部取引高を除いて表示しております。
※当連結会計年度より、「グリーン事業」セグメントに含まれていた「小売事業」セグメントについて重要性が増したため報告セグメントとして記載し、「ネット通販事業」「造園事業」セグメントを重要性が乏しくなったことに伴い、区分を見直し「グリーン事業」セグメントに含めて記載しております。



トピックス

新規出店



「花と緑と雑貨のお店 りこしえ+」
イオンモール四條畷内
(2015年10月OPEN)



「the Farm UNIVERSAL 銀座」
銀座三越内
(2015年10月OPEN)

店舗改装

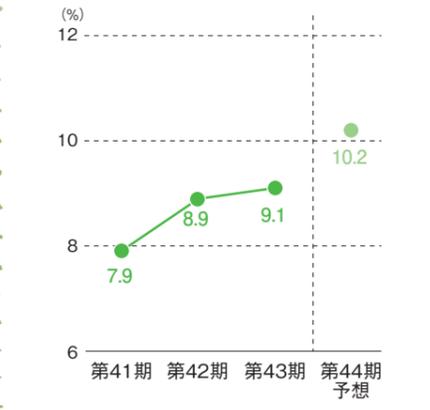


「the Farm UNIVERSAL」(外観)
フレスポ稲毛内 (2016年3月OPEN)



(店内) カフェ「FARMER'S KITCHEN」
(2016年3月OPEN)

自己資本当期純利益率 (ROE)



M&A

- 2016年2月、ローリング・グリーンズ・インクはセッジフィールド・インテリア・ランドスケープ・インクより、植物のオフィス向け販売・メンテナンス事業を主とするシャーロット支店、グリーンズボロ支店の2支店を事業譲受
<参考>
- 2016年5月、ローリング・グリーンズ・インクはプレミア・プラントスケープス・エルエルシーより、植物のオフィス向け販売・メンテナンス事業を譲受
※なお、プレミア社の事業譲受は2017年6月期に寄与する予定となります。